本島通信

発行所　〒763-0223
香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321（代）
本島通信編集室　R.220124-0128-25
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所　〒632-0093
電話 0743-63-1571（呼）
https://www.honjima.com
Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
【2月1日～2月15日】
朝づとめ　午前6時45分
夕づとめ　午後6時15分
【2月16日～3月31日】
朝づとめ　午前6時45分
夕づとめ　午後6時30分

本島大教会 春季大祭神殿講話（要旨）　【立教185年1月22日】

教祖ご存命、信仰姿勢を見直し
真剣におさづけを

本部員　安野嘉彦（やすのよしひこ）先生

只今は本島大教会の春季大祭を、素晴らしい晴れやかなお天気を頂戴されまして、厳かに一手一つに祭典をおつとめになられましたこと、心からご同慶の意を表したいと思います。

届かない者ですが、大教会長様からお招きを頂いて、参拝させて頂きました機会に、日頃思いますことをお話し申し上げ、ご参考にして頂ければと思います。

私は母親からいつも叱られておりました。「お前の話は理屈っぽい。面白くない。だいたい話す顔が良くない。一つも朗らかな顔をして話さない。徳のある方のお話は、難しい話も聞かせて貰いやすいように話される。ちょっと勉強し直せ。」といつも言われていました。どうか皆さま方で上手に咀嚼（そしゃく）してお聞き取り頂けたら有難く思います。よろしくお願いします。

お道の教会の春季大祭は、明治20年陰暦正月26日、教祖が現身（うつしみ）をお隠しになられて、世界ろくぢに踏み均しにお出ましになったその日に思いを馳せて、教祖の50年にわたるひながたの道に込められた親心を求めさせてもらうことを意義とする祭典であります。

真柱様は今年の「年頭あいさつ」で、「来年には、（教祖）百四十年祭を目指す三年千日という動きに入っていくわけであります。」と年祭活動に触れられ、「伝える側の姿勢としては、信仰姿勢、普段から教祖の教えられたことを身に行い、なるほどの人になる努力をすることを怠ってはならないと思います」と私たちのあるべき姿を仰せられました。そして「私たちが先人の苦労を忘れ、結果として、教祖が遠くなってしまったというところがあるのではないかと思うのであります。入信の元一日を忘れ、結構な状態にあることが普通になってしまい、なかには、そうでなければ信仰するのは嫌だという気持ちにもなり、そうした姿のなかで、だんだんと現れてきた姿ではなかろうかという気がするのであります」と、私たちの信仰姿勢を質（ただ）されるお諭しを下さいました。

本島大教会は今年創立120周年を迎えられ、5月21日に記念祭が勤められます。只今はその記念祭に向かう活動の仕上げに、一手一つになってお励み頂いている最中であろうと思います。

思えば、おぢばから京都（河原町大教会）、さらに敦賀（越乃國大教会）へ伝えられた教えの種が、この本島に伝わり、さらに世界に広がり、今日の大教会の姿をお見せ頂いておられます。

その本島の道を温（たず）ねると、苦労をものともせず、というより困難が大きければ大きいほど、ご存命の教祖を頼りに道を歩まれ、教祖にお導き頂きながら、勇んでお通り下さった先人先輩の喜びに満ちた歩みがあります。

只今は創立120周年の節目に当たり、申し合わせた「教祖のひながたをたどる」を成人への目標として、本島挙げて一手一つにお通りのことだと思います。

昨年の11月には、本島大教会世話人である宮森与一郎先生から、諄々と分かりやすくお話を頂かれました。

本島通信によると、宮森先生は、『ひながたをたどる』とは、分からない人に分かるまで説いて通る、連れて通る、そのための苦労は何でもさせて頂く。これがひながたであります。」「このお道を知らない、分かろうとしてくれない人に、分かってもらえるだけの苦心をする。そのためにはわが身はどうなればよいのか、どんな通り方をすればよいのかを考えながら日々通ることが、『ひながたをたどる』ということであります。」と明快にお話し下さっています。

教祖のひながたの道を学ばせて頂くお互いは、稿本天理教教祖伝を紐解きながら、教祖の思いはこうではないか、ああではないか、こうすれば教祖の思いに適うのではないか、一生懸命その思いでやって来たけれどもどうもお見せ頂いている姿は違うな。どこに悟り違いがあったのだろうと、何度も読み返しながら、ご存命の教祖の温かいお導き、お手の温もりを感じることが、今日の私たちの喜びだと思うのであります。

コロナ禍の事情により、それまで当たり前だったことが当たり前でなくなり、おぢばがえりや、病む人へのおたすけがままならないこの時にあって、教祖のお心に適う歩みはどうなのか、私なりに思案し、心に強く浮かんできたことをお話したいと思います。

私事で申し訳ないのですが、私は両親が30歳過ぎてからの一人っ子として生まれ、天理幼稚園、天理小学校、天理中学校、天理高校と何不自由なく育ててもらいました。ただ大学は、親里を離れ、仙台の大学で学ばせて頂きました。

大学3年になる年の3月に、父が青森縣分教会長の御用を頂戴しました。当時、父は本部准員でありまして、役職もあり、何不自由ない立場でありました。日本の社会状況も、高度経済成長の真っ只中ですから、なんとなく華やいで明るい雰囲気に満ちていて、仲間は皆就職する話になっていまして、私もそのつもりでした。

ところが、いわゆる就職活動が本格化する年の5月3日、ラグビーの練習試合中に、頸椎を骨折してしまい、首から下が完全に麻痺して寝たきりになりました。腕は自由に動かず、大小便も自力で足せず、顎に猿轡をして、そこから重しをつけて寝たきりの状態となりました。

お医者さんは、両親に「寝たきりでも、生きているだけでもいいと思うように」と話をしたようです。

その時、もったいない話ですが、前真柱様、その当時はたすけ委員長であられましたが、仙台の教会に御用でお立ち寄りになったとき、私の病室に足を運んで下さり、お諭しくださいました。

「首、えらい長くなったな」と仰りながらベッドの横にお座りになり、「安心して寝とれよ。元通りになるからな。」と励ましてくださったのであります。更に、「お前のところは父親と母親とお前の3人きりの家族や。その3人きりの家族に今、大切な御用を頂戴したな。」と話され、「教会長の御用は親神様、教祖にお仕えするのがこれが勤めや。それを親子3人が喜んで勤めようという心になったら、必ず元通りにして下さるから安心して寝とれ。」と諭してくださったのであります。

父親が会長の御命を受けた青森縣分教会は、青森教務支庁が置かれていた教会です。青森教区の先人が丹精してくれたお陰で立派な神殿があり、戦争で焼失してからも、再び教区の人々の真実で復興した教会でありました。そうした先人が伏せ込まれた、尊い理のある教会ではありましたが、就職しようとしていた私にとっては、この話は有難迷惑だったのであります。正直言って、「俺は一人っ子やけど継がないぞ。」と思っていました。

そう思った矢先の首の怪我ですから、こうまんで悟りの鈍い私でしたが、不思議なことにこのお諭しだけは、素直に得心ができ、「よし、やらせてもらおう」と心が定まりました。

それから3日後でしたか、怪我して以来尿意を覚えることもなく、毎日看護婦さんに導尿してもらっていたのですが、初めておしっこがしたいという気持ちになりました。尿瓶を当ててもらって、ちょっと気張った途端にひきつけを起こし、母親が私の手を握って、親神様、教祖にお願いして看護婦さんを呼びに病室を飛びだしてからの記憶が飛んでいて、気が付くと、医者も駆けつけて応急の処置をしてくれて目覚めました。

以来、お医者さんも不思議がるご守護を戴き、今日の日があります。

私が生まれ変われたのは、ひとえに前真柱様のお陰です。それとても

に、両親の信仰、古くから安野の家に縁のある古い信者さんをはじめ、お願いづとめをつとめてくれた国立ハンセン病療養所にある青森縣分教会の布教所の人々やおばの友達など、いろんな方々の真実を頂いたお陰で、道一条を通ろうと決心できたのであります。不思議な御守護と多くの人の真実のお陰で、自分自身で決心して道を通り始めた。これが私の入信の元一日です。

話は飛びますが、北海道へ修理巡教させて頂いたときの教会のお話です。

未信の家から教会の後継者の元に嫁いだ直後に、その主人に先立たれ、続いて、舅・姑に相次いで出直され、一人ぼっちになった寂しさから、神殿で涙にくれながら居眠ってしまい、夜中に目覚めた途端に、「教祖が存命でおられる。決して自分一人ではないのだ」との確信をお与え頂いた。それから毎日、教祖と共に歩ませて頂ける喜びで勇んで通らせて頂くうちに、こんな結構な教会の姿をご守護頂けた。と話して下さった年老いた婦人の会長さんの実に晴れ晴れとした表情を思い起こします。

同じく、以前は拝殿に入り切れない参拝者で賑わった教会にもかかわらず、炭鉱の閉山と共に参拝者の少なくなった教会で、あちこちに散ってしまった信者さんの無事を、毎日教祖にお願いさせて頂けることがなによりの生き甲斐だと、うれしそうに語って下さった会長さんのゆるぎない穏やかな温顔が浮かびます。

また、文化、風俗、習慣の全く異なる海外の地で、言葉も十分で無いのに、病人さんを探してはおさづけを取り次がれ、毎日日本の方へ向かって、十二下りのてをどりをつとめられながら頑張れたのは、ご存命の教祖をお慕い申せばこそ、と海外教会の会長さんに教えて頂きました。

教祖ご存命の理は、明治20年陰暦正月26日、教祖が現身をお隠しになられた時に、お諭し頂きました。

普通の人間はいざ知らず、教祖だけは百十五歳まで生きて、たすけの上にお働き下されると信じておられただけでなく、命を懸けておつとめをつとめた上からは、必ず教祖はお元気におなり下さると勇み切っておられた当時の先生方にとりまして、事は、まさに晴天の霹靂でありました。

悲嘆、落胆に沈み、驚愕の余りうろたえながら人々は、教祖が御身をお隠しになられたその思召しは何処にあるのか、これから先は何を頼りに通っていけばいいのか、と、飯降伊蔵先生を通して、おさしづをお伺いになったのであります。

そういたしますと、よくご承知のように、

「扉開いて、ろっくの地にしてくれ、と、言うたやないか。思うようにしてやった。さあ、これまで子供にやりたいものもあった。なれども、ようやらなんだ。又々これから先だん〳〵に理が渡そう。」

（おさしづ明治20・2・18）

と、仰って、扉を開いて地を均してくれというたから、思うようにしてやった。これからは、これまでやりたくともようやれなんだものを、理が渡そう。と、教祖ご存命の理をお諭しになり、ご存命の教祖が、おさづけの理をお渡しくださることをお約束下さって、人々を勇ましてくださったのであります。

当時の先生方は、教祖が先頭に立って世界たすけにお働きくださる。今日の日まで連れて通って頂いて、救けて頂いたご恩を、今はお返しする時だと、理屈ではなく行動をもって、にをいがけ・おたすけに励まれたのであります。

私は高校3年のときに、おさづけの理を拝戴しました。戴いて、同級生にちょっと取り次いだことはあったのですが、真剣ではなかったと思います。

ところが道を通ると決心して後、父が次第に年になり、青森の教会で心筋梗塞の発作が起きました。青森に知り合いがそんなにいませんから、お医者さんも知らない。私はどうしていいか分からなくなって、一生懸命、無心になって父におさづけを取り次がせて頂きました。素人目にも危ない症状がおさづけの取り次ぎで治まってくれました。そのうち信者さんが来てくれて、救急車を呼んで市民病院に入院することになりました。

それまでおさづけをどこか棚の上に上げていた私でさえ、父の急病を治めて頂きたいと真剣に理屈抜きに、ただただ御守護頂きたいと願っておさづけを取り次ぎ、見せて頂いた有難い姿に、心底素直に御礼申すことができました。心が澄み切ったような気持ちになりました。

どんなにこちらの人間思案で、親神様・教祖の思召に沿えない日々を

送っていたとしても、真剣に親神様・教祖に御守護を願って勤めるとき、必ず教祖はお働きくださいます。考えてみたらそのとき私の心は澄んでいました。余計なことが心になかったと思います。ただただ、父の身上を救けて頂きたいという一心でした。あれが親神様・教祖の望まれる心が澄んだ状態だったのだと思います。

元の神、実の神であらせられる親神天理王命様が、神のやかたである人間創造の元のぢばにお鎮まり下さると共に、神のやしろたる教祖に入りこまれて、だめの教えをお説き下され、更に万人たすかるひながたの道をお示し下さったばかりでなく、今尚、存命の理を以って、お導き下さればこそ、私たちは、陽気ぐらしへ歩みを進めることが出来るのであります。

陽気ぐらしは、神人和楽の世界であります。同じ息一つのものと教えて頂く教会に、お出張り頂きます、親神様、教祖のお目標様にお仕え申し、ご存命の教祖に心を繋がせて頂き、「月日がありてこの世界がある」真実をしっかり世の人々に映させて頂きたいと思います。

「お月様が、こんなに明るくお照らし下されて居る。」「水を飲めば水の味がする。親神様が結構にお与え下されてある。」「ふしから芽が出る。」等と、どんななかでも、親神様の懐住まいを味わい、神人和楽の陽気ぐらしを楽しませて頂けることを、身を以って教えて下さいました教祖。お息をおかけになられたり、優しくお手で撫でさすられて不思議なたすけをお見せになられた教祖。身近な力比べに、私たちの真実に倍する不思議な御守護の実をお見せ下さることを教えて下さいました教祖。御身はおやしきにおわしながら、遠く蝦夷の地で、難破しそうになった先人の危急をたすけられ、おやしきで御用される人の家許の心配を取り除かれ、あるいは、御存じ無い筈の陰膳の真実を労われたり、見ぬき見通しの親神様のお働きを数々お見せになられた教祖。自らお召しになった赤衣を礼拝の目標にお下げになられたり、お下げになった赤衣を身にまとっておたすけに回ることを教えられて、神一条の日々が親の理に溶け込むことにあること、また、たすけ一条の道が、親の理あればこその道であることを具体的に分かり易く教えて下さった教祖。自分がたすけて頂いた喜びを人に伝えて、人をたすけさせて頂くことが、ご恩報じの道であることを教えて下さった教祖。等々、数え上げればきりはありませんが、当時の先人が、生き神様と慕ってお導き頂かれた教祖は、今もご存命で、同じように私たちをお見守り下さっているのであります。

道一条生活も、仕事をしながらの生活も、教祖のようぼくとしての勤めは同じです。

日々の生活の中でも、常に親神様・教祖の思召を念頭に置いて、親に喜んで頂こうと勤めれば、必ずご存命の教祖のお導きを実感できる。これが私たちの信仰だと思うのです。だからこそ、おつとめを真剣に勤める必要がありますし、おさづけを真剣に取り次がせて頂き、そうして日々親神様・教祖にお仕えするということを心に置くことが大切だと思います。

先ほどお話した北海道や海外の教会長の一言ひと言が、今日の私の支えになっていますが、そのお話はその会長さんが私を説得しようとした話ではありません。それぞれが日々通っていることを、素直に仰っただけなのです。それが私の胸を強く打ちました。

「創立120周年」、言葉で言えば簡単です。しかし本島大教会の人々の120年間の歩みは、非常に重い日々の積み重ねがあっての120周年だと思います。

そして今年の5月21日は、その日を定めて一つになって勤めよう、ということです。

真柱様が仰せられる信仰姿勢を思案し、どうか皆さまが一手一つに記念祭をお勤めになられることをお祈り申し、本日の話とさせて頂きます。

最後に、大教会長さんのお父様の昇前々会長さんとはいろいろな思い出がありますが、せっかくの好意を素直に受けられなかった自分の器量の小ささから、嫌な思いをかけたやろうなという申し訳なさがあります。

本日、親神様、教祖はもとより、昇御霊様にも、お詫びとともに、ようぼくの一人として、これまで以上に、親心を受け損なわないように通る決意を申し上げる機会を頂いたと思い、参拝させて頂くことができました。ありがとうございました。

（文責・片山幹太）

教祖年祭に向かう下地作りの年

1月大教会教会長会議

立教185年1月22日

大教会長　片山幹太

大教会創立120周年記念祭の年の1月を迎えました。改めまして、今年もよろしくお願いいたします。

真柱様から直接お言葉を頂く貴重な機会として1月4日、本部第二食堂にて「年頭あいさつ」を頂きました。

このお言葉を、今年一年の指針とさせて頂きたいと思います。全文が「みちのとも」に掲載されています。その中から一部、拝読させて頂きます。

「私は、道を伸展させるためには、いろいろな意味において、教祖の年祭を勤めることは大切なことであると思いますので、次の百四十年祭は勤めさせていただきたいと思っているのであります。」

道を伸展させるために教祖の年祭を勤める、ということです。この「道を伸展させる」をいう大事なキーワードを頂きました。

来年は教祖年祭に向かっての三年千日の活動が始まります。そして前年となる今年は大教会創立記念祭の年、そして年祭活動に向かって心の下地作りをさせて頂く年、今月はその年明けです。

私たちの先人先輩方、特に初代の方々が、常に親神様、教祖、おぢば、真柱様をお慕い申して、成人の歩みを進めて下さっての今がありますので、「みちのとも」の真柱様のお言葉をしっかり拝読し、そのお言葉の奥にある親の思いを深く思案させて頂きたいと思います。

「思案」について、もう一言お話させて頂きます。

本日は本部員・安野嘉彦先生のお入り込みを頂き、神殿講話を頂戴しました。

実は数ヶ月前のことです。この春季大祭には、安野先生のお入り込みを頂きたいと、役員会議で相談した上、先生のもとへご相談に行ったとき、先生は始め難色を示されたのです。「本島には、宮森君（世話人・宮森与一郎先生）が行ってるからだいじょうぶだろう」という感じだったのです。

けれども、しばらくこちらの話を聞きながら、急に顔色がパッと変わったのです。そして本島に来て下さることになりました。

今朝、その理由を安野先生から聞かせて頂きました。それは、安野先生の義弟となる私の父昇から、若い頃（55年前）贈り物を貰ったのに、安野先生は素直に受け取れなかった。そして思いがけず義弟が若くして出直し、その御礼を言えなかったことがずっと心残りだった。若い頃のご自身の心の小ささを悔い、今回は遠慮するとか断るようなことはせず、素直に受けて、55年前の恩返しをして悔いを乗り越えたい、というお話でした。

55年間、心に残ってきたこと、その思案に、信仰で繋がることのありがたさを強く思いました。

本島として、真柱様のお言葉を心に置いて、一手一つに道を歩ませて頂きたいと思います。今年一年よろしくお願いします。

（文責・本島通信編集室）

春季大祭 祭典役割

献饌長　老木邦光

伝供　井上哲・篠原丕王・永山晴明・吉田晴雄・向所隆文・永島宗行・原口実・奥村龍夫・伊東康成・高垣光治・雲庵春彦・高島栄造・長濵充憲・寺本邦一・宮路和徳・茶屋原良昭・肥後章・位下道治・鎌田典夫・山下英久・須﨑晴道・滑川善久・上山康雄・川村吉夫・時久英次・木村太喜・溝口晋太郎・香川勝巳

雅楽奉仕者　片山秀明・香川高範・池田恒治・上山薫・伊東賢太郎・内橋和博・鎌田康典・香川靖幸・白垣俊生（順不同）

祭主	大教会長	座りづとめ	地方	てをどり	笛	神殿講話
指図方	片山勲				ちゃんぽん	
扈者	西山道教	てをどり前半	窪田靖明	大教会長	拍子木	井上哲
	岩橋竜造		篠原丕王	片山勲	太鼓	雲庵道延
賛者	大上道徳	てをどり後半	高垣光治	高島清弘	すりがね	牧野道昭
	片山直明		肥後章	会長夫人	小鼓	平井真治郎
			西山道教	片山やすゑ	琴	片山直明
			岡﨑八十則	長尾澄子	三味線	老木邦光
			岩橋慶三		胡弓	片山榮
						池田さわみ
						向所暉美子
			岩橋竜造	岩橋元実	太鼓	大上道徳
			原口実	原口和子	長濵充憲	
			長尾海和	片山美穂	吉田晴雄	
			永山晴明		永島宗行	
					奥村龍夫	
					向所隆文	
					岡﨑むつゑ	
					吉田要子	
					上田敬子	
			伊東康成	伊東晴美	拍子木	木村太喜
			岩橋守行	高垣洋子	寺本邦一	
			香川勝巳	梅木澄代	宮路和徳	
			滑川善久		高島栄造	
					時久英次	
					雲庵春彦	
					菅岡和美	
					加藤道代	
					白鳥有子	
						本部員・安野嘉彦先生

春季大祭祭文

立教百八十五年一月二十二日

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。親神様には、紋型ないところから、この世人間世界をお創造り下され、長の年限、絶え間なき御守護と、段々のお仕込みとにより、漸く今日の成人にまでお育て下さいました只ならぬ御高恩の程は、片時も忘れることなく、日々勇んでたすけ一条の御用に励ませて頂いております。

その中にもこの月は、月日のやしろとお定まり下された教祖が、五十年の長の歳月、よろづたすけの為にひながたの道をお遺し下され、尚も子供可愛いそれ故に、定命を二十五年お縮めになり、現身をおかくし遊ばされ、扉ひらいて世界ろくぢに踏み均しに出られた尊い縁りの月にあたりますので、世界たすけをお急き込み下さる深い思召に思いを致し、おつとめ奉仕者一同、一手一つに心を合わせて、只今から陽気に座りづとめ、てをどりを勤めさせて頂きます。

御前には、折からの寒さに加えて、国内外の事情が立て合う情勢の中を、親を慕って帰り集いました教え子たちが、日頃賜わる御守護に御礼申し上げ、なおもお縋りする真実の状を御覧くださいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

尚、本日はおぢばより本部員安野嘉彦先生のお入込みを賜り、時旬のをやのお声をお聞かせ頂きます。

また、本年五月二十一日に迎えます、創立百二十周年記念祭に向けて、仕上げの理づくりに励ませて頂きたいと存じます。

私共、教会長、よふぼく、信者一同は、節が立て合うこの旬を逃さぬよう、にをいがけ、おたすけ、道の将来を担う人材の育成に御恩報じの道を歩ませて頂く決心でございます。

何卒、至らぬところは幾重にもお仕込み下さいまして、世界一れつが、思召し下さいます陽気ぐらし世界に、一日も早く立て替わりますよう、お導きお育ての程、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

（原文のまま）

入社祭

立教185年1月22日、入社祭はありませんでした。

1月22日（土）
【香川県丸亀市】

天候	晴
最低気温	－1.9℃
最高気温	7.7℃
平均気圧	1026.8 hPa
平均湿度	67％
平均風速	2.0 m/s
日照時間	9.1時間
降水量	0.0 mm

立教百八十五年 元旦祭 祭典役割

祭主	大教会長			
指図方	片山　勲			
扈者	永山晴明 横山富明			
賛者	横山正次 上野道貞			
		座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
地方	片山　勲 長尾海和 片山好次	永山晴明 横山正次 長尾直太郎	横山富明 上野道貞 片山昇太	横山正次 池田恒治 片山好次 上野里子 出田瑞穂 大上ほの香
てをどり	大教会長 永山晴明 横山富明 会長夫人 片山やすゑ 長尾澄子	片山　勲 長尾海和 上野道貞 片山やすゑ 長尾澄子 長尾善絵	片山秀明 真柴ロベルト 永山みすゞ 永山晴明 長尾澄子 三宅しまえ	片山秀明 真柴ロベルト 永山みすゞ 永山晴明 池田ゆりえ 吉田道則 長尾澄子 三宅しまえ 老木りさ
笛	片山秀明	吉田道則	片山秀明	
ちゃんぽん	真柴ロベルト	老木りさ	真柴ロベルト	
拍子木	長尾大助	上野里子	永山みすゞ	
太鼓	上野道貞	長尾大助	永山晴明	
すりがね	池田恒治	片山昇太	池田ゆりえ	
小鼓	長尾直太郎	横山富明	吉田道則	
琴	三宅しまえ	大上ほの香	長尾澄子	
三味線	永山みすゞ	池田ゆりえ	三宅しまえ	
胡弓	長尾善絵	出田瑞穂	老木りさ	

大教会長動向

▼2月(予定)▲

1日、本部神殿奉仕当番
3日、香川教区役職者会議
4日、本部神殿奉仕当番
6日、本部神殿奉仕当番
11日、本豊後分教会巡教
12日、澁谷分教会巡教
19日、同朋分教会巡教
22日、大教会月次祭執行
24日、修養科総立ちまなび
25日、かなめ会委員会
26日、本部月次祭参拝
27日、かなめ会　以上

第46回鼓笛隊北海道地区冬季合宿

本島団鼓笛隊(鎌田典夫部長)では、1月11日から13日まで、本室分教会(西山道教会長、北海道室蘭市)を会場に、第46回北海道地区冬季合宿を実施し、隊員3名、指導員4名、ひのきしん者3名が参加しました。

今年の北海道地方は大寒波に見舞われ、大雪の中での合宿となりましたが、屋外での練習も元気に行いました。

12日はパーティーを開催、会食と余興を楽しみました。

最終日は神殿にて御供演奏を実施。マーチ3曲と、パレード・ザ・ホンジマを演奏し、「ありがとう夏おぢば」を斉唱しました。合宿は短時間、少人数でしたが、練習の成果を親神様、教祖にご覧頂きました。

閉講式では大教会長よりメッセージが届けられました。

「本年は本島大教会創立120周年の年を迎えました。鼓笛隊を含め、大教会のあらゆる活動の基礎を築いて下さった先人や仲間の心を学び、身につけ、より一層大きな『一手一つの和』が築けるよう、5月21日に大教会において記念祭を勤めさせて頂きます。このまたとない機会に、心を合わせ、成長させて頂きましょう」とのメッセージが代読されました。

なお指導員として、伊東慎平、鎌田いつほの2名が派遣されました。

「地域の集い」関東・中国四国・北海道

去る11月28日、全国5ヶ所の会場で同時開催された「地域の集い」。本紙第939号の関西ブロック、九州ブロックの報告に続き、関東・中国四国・北海道各ブロックの報告です。

■関東ブロック

関東ブロック（吉田晴雄、後藤正治、沖野一道各委員）では、本浜分教会を会場に午前10時より開催。34名が参加しました（子弟参加22名、スタッフ6名、少年会員6名）

ウォーミングアップ、開講挨拶、「教祖伝に親しむ」プログラムの後、Ｚｏｏｍ配信による「大教会長お話」を聞き、続いてグループワークでお話を振り返り、参加者は伏せ込みの大切さや、これからの道の歩みの上で実行していきたいことを語り合いました。

午後からは沖野一道委員による「私が体験した親神様・教祖の不思議なご守護の話」、片山誠青年による大教会史の研究発表が行われました。

■中国四国ブロック

中国四国ブロック（長尾海和、菅岡和美、茶屋原倫江各委員）では、本島大教会を会場に開催。15名が参加しました。

午前はＺｏｏｍ配信による「大教会長お話」を聞き、午後から大根の漬物を漬けるひのきしん、カンタリーロードのダンス練習を行い、２班に分かれて教祖逸話劇をしました。

■北海道ブロック

北海道ブロック（西山道教委員）では、本室分教会を会場に開催。3名が参加しました。

創立 120 周年記念祭
直会（なおらい）演芸の出演募集してます！

10 年に一度の記念祭、直会の晴れ舞台で演芸を披露しませんか？　歌、舞踊、演奏、寸劇、お笑い、団体でもグループでも個人でも。
担当（岡﨑八十則）までご相談ください

創立 110 周年記念祭直会のようす

事情はこび

立教185年1月、本島関係のお運びはありませんでした。

おさづけの理拝戴

（立教184年12月分）

本府中　吉田このみ
栄　峰　西田光グレン
【計2名】

修養科第965期修了

（立教185年1月27日終了）

栄星峰　森　正蔵
【計1名】

大教会神殿奉仕人指名

（立教185年1月22日付）

帆刈孝譲
新見百年
【計2名】

おさづけお取り次ぎ報告

（立教185年1月22日）

提出教会　19教会
報告数　1、102回
累　計　1、102回

青年会雅楽講習会

青年会本島分会（片山秀明委員長）では、1月8日から10日までの3日間、本島詰所において雅楽講習会を実施。講師3名を含む12名が参加し、雅楽の技術習得に励みました。

篳篥、龍笛、笙の各管に分かれ、平調を中心に練習を行いました。

次回は3月19日から3日間、本島大教会で行う予定です。

ろくぢ会

（立教185年1月分）

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真美・幸太△藤山さちよ　▼樺太分教会　▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉　▼本浜△片山清枝・正枝・誠　▼本攝分教会　▼崇徳分教会　▼本高分教会　▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次

ご芳志に厚くお礼申し上げます

慶事（よろこびごと）

宮路さとえさん（宮路和徳そのよ霊峰分教会長夫妻の長女）と石田薫平（くんぺい）氏（池田部属・隆初（たかはつ）分教会後継者）は1月23日、隆初分教会（大阪市住吉区）にて結婚されました。

■本府中分教会年祭

本府中分教会2代会長夫人吉田善子10年祭が1月15日、同教会において吉田知彦本府中分教会長祭主のもと執り行われました。

統　計（12月1日～31日）

教会名	初席	中席	おさづけ拝理	修養科	教人講習	検定講習
本島	1					
本府中		1	1			
本廣				1		
本陽山		1				
倉峰		1				
栄峰			1	1		
實峰	1					
別峰		2				
鶴峰		1				
合計	2	6	2	2	-	-

カンタリー君LINEスタンプ

カンタリー君（大教会創立120周年記念祭公式マスコットキャラクター）のさまざまな表情をイストにしたスタンプ（24個）が出来上がりました。

本島ドットコムよりダウンロードできます。

また、LINEスタンプショップで購入されると、LINEで使用できます。

（頒価120円です）

QRコードを読み取ってご利用下さい。

本伯教会 住所表記変更

本伯教会（大久保荒和会長）の住所は下記の表記に変更となりました。
住所録の修正をお願いします。

Rev. Arakazu Ohkubo
Igreja Tenrikyo Honpaku
Rua Antonio Joaquim dos Santos,
16 Centro Alto,
RIBEIRÃO PIRES, S.P.
09420-440 Brazil

年間統計表(教会別)

立教 184 年

教会名	別席の誓い	おさづけの理拝戴	三日講習会全課程履修	修養科修了	教人資格講習会修了	教会長資格検定講習会修了	証拠守り	をびや許し
本清保	-	-	-	-	-	-	-	-
本備前	-	-	-	1	-	-	-	-
本廣島	-	1	-	-	-	-	-	-
本迪	-	-	-	-	-	-	-	-
本府中	-	1	-	-	-	-	-	-
本中國	-	1	-	-	-	-	-	-
沖浦	-	-	-	-	-	-	-	-
馬木尾	-	-	-	-	-	-	-	-
本亀	-	-	-	-	-	-	-	-
本清水	-	-	-	-	-	-	-	-
崇徳	-	-	-	-	-	-	-	-
与島	-	-	-	1	1	-	-	-
本廣	-	-	-	1	-	-	1	-
本勇	-	-	-	-	-	-	-	-
本高	-	-	-	1	-	-	-	-
本宣道	-	-	-	-	-	-	-	-
阿波本徳	-	-	-	-	-	-	-	-
本阿波	-	-	-	-	-	-	-	-
本九	-	-	-	-	-	-	-	-
本小倉	-	-	-	-	-	-	-	-
本陽山	1	-	-	-	-	-	-	-
本大和	-	-	-	-	-	-	-	-
本新郷	-	-	-	-	-	-	-	-
本九肥	-	-	-	-	-	-	-	-
本肥港	-	-	-	-	-	-	-	-
本山陽	-	-	-	-	-	-	-	-
本千嘉	-	-	-	-	-	-	-	-
本新田	-	-	-	-	-	-	-	-
本九台	-	-	-	-	-	-	-	-
本豊後	-	-	-	-	-	-	-	-
本肥	-	-	-	-	-	-	-	-
赤峰	-	-	-	-	-	-	-	1
雅峰	-	-	-	-	-	-	-	-
南峰	-	-	-	-	-	-	-	-
吉峰	3	1	-	-	-	-	1	-
神峰	-	-	-	-	-	-	-	-
豪峰	-	1	-	-	-	-	-	-
倉峰	-	-	-	1	1	-	1	-
栄峰	1	1	-	1	-	-	1	-
大雄峰	1	1	-	-	-	-	-	-
雄福峰	-	1	-	-	-	-	-	-
雄山峰	-	-	-	-	-	-	-	-
栄森峰	1	1	-	-	-	-	-	-

教会名	別席の誓い	おさづけの理拝戴	三日講習会全課程履修	修養科修了	教人資格講習会修了	教会長資格検定講習会修了	証拠守り	をびや許し
栄星峰	-	-	-	-	-	-	-	-
栄東峰	-	-	-	-	-	-	-	-
霊峰	-	2	-	-	-	-	-	-
實峰	2	2	-	-	-	-	-	1
大隅聖峰	1	1	-	-	-	-	-	-
大松峰	-	-	-	-	-	-	-	-
大駿峰	-	-	-	-	-	-	-	-
別峰	5	4	-	-	-	-	-	-
吉松峰	1	-	-	-	-	-	-	-
大英峰	1	-	-	1	-	-	1	-
文峰	-	-	-	-	-	-	-	-
肥後八峰	-	2	-	-	-	-	-	-
銀峰	-	-	-	-	-	-	-	-
新信峰	-	-	-	1	-	-	-	2
鶴峰	2	-	-	-	-	-	-	1
善峰	-	-	-	-	-	-	-	-
都峰	-	1	-	1	-	-	1	-
仙峰	1	-	-	-	-	-	-	-
ホノルル	-	-	-	-	-	-	-	-
カイムキ	-	-	-	-	-	-	-	-
カカコ	-	-	-	-	-	-	-	-
ラナイ	-	-	-	-	-	-	-	-
台檀	-	-	-	-	-	-	-	-
キャッスル	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒロ	-	-	-	-	-	-	-	-
マウイ	-	-	-	-	-	-	-	-
ポートランド	-	-	-	-	-	-	-	-
エヌ・シー	-	-	-	1	-	-	-	-
ウエスタン	-	-	-	-	-	-	-	-
マリーナ	-	-	-	-	-	-	-	-
イリノイ	-	-	-	-	-	-	-	-
ミッドウエスト	-	-	-	-	-	-	-	-
キャピタル	-	-	-	-	-	-	-	-
サウザンパシフィック	-	-	-	-	-	-	-	-
シアトル	-	-	-	-	-	-	-	-
ハリウッド	-	-	-	-	-	-	-	-
ウイルソン	-	-	-	-	-	-	-	-
タミナル	-	-	-	-	-	-	-	-
カリフォルニア	-	-	-	-	-	-	-	-
シータック	-	-	-	-	-	-	-	-
本伯	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	**31**	**34**	**0**	**12**	**6**	**2**	**8**	**10**
前年比	-15	+5	-1	+1	+2	±0	+3	-6

立教184年

年間統計表(教会別)

教会名	別席の誓い	おさづけの理拝戴	三日講習会全課程履修	修養科修了	教人資格講習会修了	教会長資格検定講習会修了	証拠守り	をびや許し
本島	4	3	-	1	1	-	-	-
樺太	1	1	-	-	-	-	-	-
本田中	-	1	-	-	-	-	-	1
本倉岡	-	-	-	-	-	-	-	-
本陸奥	-	-	-	-	-	-	-	-
本樺	1	1	-	-	-	-	-	-
本室	-	-	-	-	-	-	-	-
澁谷	1	-	-	-	-	-	-	-
御幸濱	-	-	-	-	-	-	-	-
本大塚	-	-	-	-	-	-	-	-
本幸山	-	-	-	-	-	-	-	-
本桶川	-	-	-	-	-	-	-	-
宮幸路	-	-	-	-	-	-	-	-
本東都	-	-	-	-	-	-	-	-
代々木	-	-	-	-	-	-	-	-
本萬代	-	-	-	-	-	-	-	-
本都	-	1	-	-	-	-	-	-
本京	-	-	-	-	-	-	-	-
本東	-	-	-	-	-	-	-	-
本道盛	-	-	-	-	-	-	-	-
本草	-	-	-	-	-	-	-	1
本護	-	-	-	-	-	-	-	-
本治	-	-	-	-	-	-	-	-
本三	-	-	-	-	-	-	-	-
本惠	-	-	-	-	1	-	-	-
本恵山	1	-	-	-	-	-	-	-
本惠明	-	-	-	-	-	-	-	-
本静濱	-	-	-	-	-	-	-	-
本静森	-	-	-	-	-	-	-	-
本日米	-	-	-	-	-	-	-	-
本浜	-	-	-	-	-	-	-	1
本米	-	-	-	-	-	-	-	-
本米臺	1	-	-	-	-	-	-	-
本米里	-	-	-	-	1	-	-	-
本米浜	-	-	-	-	-	-	-	-
本千代	-	-	-	-	-	-	-	1
本千賀	1	-	-	-	-	-	-	-
本千房	-	-	-	-	-	-	-	-
本千治	-	-	-	-	-	-	-	-
本千惠	-	-	-	-	-	-	-	-
本盛濱	-	-	-	-	1	1	-	-
本盛蘭	-	-	-	-	-	-	-	-
本平濱	-	1	-	-	-	-	-	-

教会名	別席の誓い	おさづけの理拝戴	三日講習会全課程履修	修養科修了	教人資格講習会修了	教会長資格検定講習会修了	証拠守り	をびや許し
本埼台	-	-	-	-	-	-	-	-
本岡崎	-	-	-	-	-	-	-	-
本葵	-	-	-	-	-	-	-	-
本攝	-	1	-	-	-	-	-	-
本花	-	-	-	-	-	-	-	-
本淀	-	1	-	-	-	-	-	-
攝良	-	-	-	-	-	-	-	-
攝津	-	-	-	-	-	-	-	-
本速	-	-	-	-	-	-	-	-
攝城	-	-	-	-	-	-	-	-
本吹田	-	-	-	-	-	-	-	-
攝泉	-	-	-	-	-	-	-	-
攝肥	-	-	-	-	-	-	-	-
攝竜	-	-	-	-	-	-	-	-
攝南	-	-	-	-	-	-	-	-
攝滋	-	-	-	-	-	-	-	-
本邦	-	-	-	-	-	-	-	-
フィリッピン	-	-	-	-	-	-	-	-
國船	-	-	-	-	-	-	-	-
本篠	-	-	-	-	-	-	-	-
本太	-	-	-	-	-	-	-	-
本萩	-	-	-	-	-	-	-	-
本海	-	-	-	-	-	-	1	-
同朋	-	-	-	-	-	-	-	-
仁德	-	-	-	-	-	-	-	-
本柳	-	-	-	-	-	-	-	-
本柳台	-	-	-	-	-	-	-	-
張家口	-	-	-	-	-	-	-	-
那波	-	-	-	-	-	-	-	-
本姫路	-	-	-	-	-	-	-	-
パシフィックコースト	-	-	-	-	-	-	-	-
本岡	-	-	-	-	-	-	-	-
撫川	-	-	-	-	-	-	-	-
琴浦	-	-	-	-	-	-	-	-
本幹	1	-	-	-	-	-	-	-
本日比	-	1	-	-	-	-	-	-
本宮濱	-	-	-	-	-	1	-	-
本承德	-	-	-	-	-	-	-	-
本水島	-	1	-	1	-	-	1	-
本福	-	-	-	-	-	-	-	-
本山海	-	-	-	-	-	-	-	-
安藝本中	-	1	-	-	-	-	-	-
本陽泉	-	-	-	-	-	-	-	1

立教185年 本部昇殿参拝

【総務部】

本部祭典の昇殿参拝は、本島として本年3月まで毎回48名の割当てを頂いております。昇殿参拝ご希望の方は、詰所事務所へお申し出ください。

- **服装**：ハッピ、ネクタイ。女性はこれに準ずる

※ マスクを必ずご着用ください

- **担当**：平井真治郎役員

記念祭おつとめ稽古

【記念祭おつとめ係】

創立120周年記念祭を目指して、おつとめのお稽古を実施します。役割に当たっている方はもちろんのこと、役割に当たっていない方もどうぞご参加下さい。

- **日時**：2月、3月、4月の月次祭前日、夕づとめ後
- **場所**：大教会神殿
- **講師**：大教会おつとめ修練部
- **担当**：岩橋竜造役員

学生生徒修養会大学の部

【学生担当委員会】

立教185年学生生徒修養会大学の部

- **期間**：
  第1回：令和4年3月2日(水)～3月6日(日)
  第2回：令和4年3月8日(火)～3月12日(土)
- **受講対象**：①令和4年1月5日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4年生以上)に在学している者。②全期間(4泊5日)を通して受講できる者。

※ 複数回の受講はできません。

- **申込期間**：令和4年1月5日～令和4年2月15日

※ 詳細については、本島学生担当委員会(池田さわみ)までお問合せください。

鼓笛隊春季特別合同練習会

【本島団鼓笛隊】

本島大教会創立120周年記念祭には「一手一つ」の演奏が行えるように、全体練習を通して感謝の心を培い、各パートの技術力向上を目指します。

- **日程**：3月26日午後2時～午後8時半
  27日午前7時～午後8時半
  28日午前7時～午後1時半

※ 子供たちは食事・練習時間のみ鼓笛隊で預かります。入浴・宿泊・送迎は各教会や家族単位でお願いします。

- **参加対象**：次年度小学1年生より高校3年生までの男女(幼稚園児不可)
- **内容**：鼓笛練習、記念祭ダンス練習
- **会場**：本島詰所
- **食事御供**：2千円(宿泊御供は各自詰所へお納めください)
- **服装**：貸出は、春の練習上着(パーカー)、ポシェット、帽子のみ

※ 洗濯はありません

- **お問合せ**：各分隊担当者または鎌田典夫(06-6432-1727)まで

布教の家入寮者募集

【布教部】

- **期間**：3月29日「入寮研修会」から、翌年3月27日「卒寮の集い」まで
- **資格**：①所属教会長ならびに直属教会長から推薦された天理教教人。②年齢は問わない。ただし、毎日布教に歩くことができること。③既婚、未婚は問わないが、単身での入寮に限る。
- **願書**：①入寮願、②経歴書、③健康調査票、④小論文「入寮の動機および心構え」、⑤写真2枚。願書は布教一課または各寮にて配布。
- **願書受付**：1月25日午前9時から2月25日午後4時まで、布教一課へ持参。※ 郵送での提出はできません。各寮(教務支庁)では受付できません。
- **入寮研修会**：入寮許可者に対し、3月29日～30日の2日間おぢばにて研修会を開催し、終了後そのまま現地へ出発します
- **詳細については**、布教一課(電話 0743－63－2243直通)へお問い合わせ下さい

青年会雅楽集中練習

【青年会本島分会】

- **日時**：3月19日(土)～21日(祝)
- **会場**：本島大教会

2月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- **期間**：2月21日～22日
- **派遣教会**：本攝

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- **期間**：2月24日20：00～27日8：00
- **派遣教会**：本福、本廣、本豊後、各1名ずつ

大教会2月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- **対象**：2月22日大教会2月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- **申込方法**：
  メールで、**live@honjima.com** に「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- **申込締切**：2月21日午後5時まで
- **ご注意**：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。申込み後、自動返信メールが送られます。届かない場合は各自の迷惑メールフォルダをご確認ください。

https://www.honjima.com/

本島大教会ウエブサイト

にをいがけ名簿提出教会（1月）

本島	0	本千代	8	本宣道	3
本樺	8	攝津	3	本陽山	2
渋谷	20	攝泉	1	本新田	2
代々木	2	本萩	1	赤峰	10
本萬代	3	琴浦	4	雄山峰	16
本都	53	本備前	4	霊峰	2
本京	10	本府中	1	善峰	56
本草	79	崇徳	20	仙峰	40
計23教会			348名		